



かがやけ憲法

キャラバンニュース

子どもたちの豊かな成長のためにも

安倍政権にNO！の審判を

★三重・11月24～25日

11月24日、三重県コースがはじまりました。桑名、四日市、鈴鹿と北勢地域を回り、駅頭やショッピングセンター前で「集団的自衛権の行使容認を許すな」「医療・介護などの社会保障を充実させよう」「原発ゼロの日本にしよう」「労働法制の改悪を許さない」などと訴え、ポケットティッシュと労働弁護団が作成したパンフレットを配りました。

桑名駅前では、桑員（そういん）労連の大崎議長が、「皆さんの財布の中にある5円玉のデザインは、稲穂と歯車と水平線からなっている。農林水産業と工業をバランスよく発展させ、豊かな国をつくろうという国民の思いが表れている。安倍政権はこうした戦後の国民の思いを無視するもの。総選挙で審判を下そう」と訴えました。

四日市駅前では、北勢労連の加納事務局長（20代女性）が保育の職場の現状を話し、「子どもたちの豊かな成長のためにも安倍政権にノーを」と訴えました。どの宣伝行動にも、新日本婦人の会や母親大会実行委員会や労働運動にかかわる弁護士が参加してくれ、日頃の協力・共同の力が垣間見られる行動になりました。

大雨の中、津駅前宣伝から2日目の行動が始まりました。教育ネットの駒田さんからは「集団的自衛権を決めた後、三重県内の高校生に県教委の名前で自衛隊の募集要項が配られるなど、教え子が再び戦場に送り込まれようとしている。安倍政権の進める『戦争する国づくり』は絶対に止めよう」と訴えがありました。



●三重県厚生連労働組合、三重短期大学教員組合を訪問 オブザーバー加盟を訴え

津駅前宣伝の後、三重県厚生連労働組合を訪問し、地域医療を守るため連絡会の結成やみえ労連へのオブザーバー加盟などでの共同の取り組みを申し入れました。

三重短期大学教員組合を訪問し、教職員の賃金労働条件のたたかいで共同やみえ労連へのオブザーバー加盟をと訴えました。津市立の大学で人勧確定の状況がなかなか伝わってこないため、市との交渉で苦勞されている

ことが話され、みえ労連が作成した自治体アンケートの結果（「三重の姿かたち」）や自治労連のパンフレットなどを渡すと「非常に役立つ」と喜ばれました。今後、オブ加盟に向けて検討をしていただけることになりました。

その後、松阪市のショッピングモール前、伊勢市駅前で宣伝行動を行いました。伊勢市駅前では、南勢ユニオンの20代の組合員が旅館業での過重労働の実態を告発。また、「ありのままで」の替え歌で憲法を守り生かそうと訴えました。

三重の憲法キャラバンは、2単組を訪問し、新たな地域労連の結成を目指す2カ所を含む6都市で宣伝行動を実施しました。2日間の街頭宣伝には約110人が参加し、若者10人がマイクを握り訴えました。行動には、全労連から布施常任幹事と名取事務局員が参加しました。

★愛知・11月27日

●県に要請

県内には軍事産業の事業所が多い 「戦争をする国づくり」で暮らしが脅かされる事態に



11月27日、愛知での憲法キャラバンがスタート。愛知県庁前宣伝行動には15人が参加し、チラシを配りながら、愛労連の樽松議長、吉良事務局長、全労連の布施常任幹事が「憲法を守ろう」と訴えました。

愛知県要請行動には、愛労連から、樽松議長、渡辺副議長、吉良事務局長、伊藤自治労連県本部委員長、笹山愛高教委員長、龍尾事務局員、全労連から布施常任幹事らが参加。安藤産業労働部労政局労働福祉課主幹ら3人が対応しました。

布施常任幹事が、憲法キャラバンの趣旨に触れた後、樽松愛労連議長が、「県内には軍事産業の事業所が多くあるが、ここで作られた兵器が、住民が知らないうちに海外の戦場で使われる、就職してみたら、軍事産業の工場だったという事態が起きるのではないかと、安倍政権が進める「戦争をする国づくり」によって県民の暮らしが脅かされる事態について指摘しました。

ブラックバイトの問題に関わって、権利パンフを県内高校生に配布する必要がある点、県がハローワークを県に所管を移せと主張している問題などについて要請をおこしました。

その後、金山駅前、豊橋駅前で宣伝行動を行いました。

★静岡・11月28日

浜岡原発の再稼働問題、中央リニア新幹線の建設問題などで要請

浜松駅前の早朝宣伝からスタートした静岡コース。15人が参加し、憲法をくらしに生かそうと訴えながら、ポケットティッシュを配布しました。通学途中の高校生から「頑張ってください」と声援が送られました。

●浜松市と懇談

その後、浜松市と浜岡原発の再稼働問題、人口流出への対応策などについて懇談しました。静岡県西部地区労連の嶋田議長から介護職場の劣悪



な状況について紹介があり、市として対策が必要なのではと要請しました。

昼休みの時間には静岡市役所前で、シール投票を行い、多くの道行く人が集団的自衛権の行使容認、九条改憲に反対の投票を行いました。

● 県と懇談

静岡県と中央リニア新幹線の建設問題、浜岡原発の再稼働問題で懇談を行いました。静岡県評の林議長が「JRは環境保護をやると言っているが、実際の手法は明らかにしていない。また、需給予測が成り立たず、このまま強行すれば、東海道新幹線を維持できなくなり、静岡の経済に計り知れない悪影響をおよぼすのではないかと懸念を伝えました。

● 静岡市と懇談

静岡市との懇談では、中央リニア新幹線の建設問題、地域経済・地元商店街の活性化の問題で懇談が盛り上がりました。

夕方、沼津駅前で行った宣伝行動を行い、約 10 人が参加。集団的自衛権の行使容認反対、労働法制の改悪反対を訴えながらチラシを配布すると、道行く人が寄ってきてあちこちで対話がはずみ、関心の高さがうかがえました。